

普及現地情報

蜜蜂に対する農薬危害防止会議を開催（熊本）

熊本市地域では、蜜蜂への農薬危害を防止するため、毎年度、関係者を参集した会議において情報を共有するほか、JAの水稻一斉防除日を養蜂家に通知するなどの対策を実施しています。

本年度も、6月13日に、養蜂家の地域代表、熊本市内で無人航空機防除を実施している農薬使用者、指導機関としてJA、農薬販売等団体、熊本市を参集して会議を開催し、31名の出席がありました。

会議では、養蜂家の令和2年の蜜蜂飼育計画に関する情報、作目ごとの防除指導状況や、ドローンによる防除に関する制度等について最新情報を提供したほか、蜜蜂の大量死や分蜂が発生した場合の対応方法について確認しました。

養蜂家からは、これまで関係者で対策に取り組んできた結果、無人ヘリによる農薬危害が疑われる事例は減ってきているとの声がありました。

一方で、園芸農家に貸し出した花粉交配用蜜蜂で、近隣ほ場からのドリフトによるものと思われる事故が見られたとのことで、農薬使用については日々指導を続けていく必要性を感じました。

そのほか、蜜蜂の大量死などの発生情報を即時に共有することができないかといった提案や、今後、増加すると思われるドローンを利用する農薬使用者を本会議の参集に加えた方がよいのではないかといった意見がありました。

今後、今回の会議で出された意見について検討するとともに、関係者間で密に情報を共有し、引き続き、蜜蜂に対する農薬危害防止に努めて参ります。

種 類：その他

関連する普及課題名：なし

HP掲載可否：可

連絡先 県央広域本部農林部農業普及・振興課

地域農業支援班 原野幸子